



さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

2017 11
(平成29年)



第23回全国女性消防操法大会 須坂市女性消防隊出場！

本年3月の県消防防災ヘリコプターの墜落事故に伴い、空中消火は他県のヘリコプターにお願ひすることから、春先は林野火災・枯草火災の防止を重点に、火災予防と発生時の迅速消火に努めて参りました。幸い、3月から5月まで須高地域では火災が10件発生しましたが、大事には至りませんでした。

最近7月11日には豪雨が降し、雨量10ミリに達し、東地区で62ミリの非常に激しい雨の時があり、地域特性に応じた防災活動が求められます。消防団と連携して応急対策を行います。同時に多発の際には駆けつけ、市民の皆さまには、お住まいの場所の災害特性を把握され、事前の備えをお願いいたします。

消防団は入団適齢者の減少に伴い、高齢化の進展で手差しの伸べる人が増えます。大規模災害時には消防団経験者を始め地域の皆様のご協力を願ひいたします。

地域防災



消防長
山岸 茂幸

9月30日に行われました第23回全国女性消防操法大会（秋田県）に長野県代表として須坂市女性消防隊が出場いたしました。当日は雨や風の吹いた荒れた天候でしたが、女性隊の皆さんは須坂市らしい素晴らしい操法を披露いたしました。

第23回全国女性消防操法大会に 須坂市女性消防隊が出場しました！

出場メンバー

隊長 坂田 祐美（音楽隊）
指揮者 徳武 洋子（音楽隊）
1番員 犬飼 未稀（音楽隊）
2番員 堀内智香子（10分団）
3番員 湯本 典子（音楽隊）
4番員 平尾ゆかり（6分団）
補助員 中村 紀子（音楽隊）



第23回全国女性消防操法 大会を終えて

第10分団 2部 堀内智香子

不安な気持ちを抱え始まった訓練。真剣になる程、できない自分と向き合う辛さ…しかし、仲間がいて、指導やサポート、応援してくれる人達がいまいました。このチームのお陰で、大会当日を迎えることができました。訓練を通して深まった絆と、本番での一体感、一人でも欠けては感じられなかったと思います。今は感謝の気持ちでいっぱいです。この経験は、私の財産となりました。本当にありがとうございました。

須坂市消防団 消防技術大会（6月11日）

小型ポンプ操法の部



小型ポンプ操法の部 優勝した第8分団

優勝	第8分団
準優勝	第2分団
3位	第10分団
4位	第9分団
5位	第3分団
6位	第11分団
7位	第5分団
8位	第6分団
9位	第7分団
10位	第1分団
11位	第4分団

第8分団 ダブル優勝！

ラッパ吹奏の部



ラッパ吹奏の部 優勝した第8分団

優勝	第8分団
準優勝	第1分団
3位	第6分団
4位	第11分団
5位	第4分団
6位	第7分団
7位	第3分団
8位	第9分団
9位	第5分団
10位	第2分団
11位	第10分団

須高消防協会 消防技術大会（6月25日）

小型ポンプ操法の部

優勝 須坂市 (第8分団)
準優勝 高山村 (第4分団)
3位 高山村 (第1分団)
4位 小布施町

ラッパ吹奏の部

優勝 須坂市 (第8分団)
準優勝 高山村
3位 小布施町



須坂市の大会では第8分団がダブル優勝を果たし、その後の須高大会においても、須坂市がダブル優勝をしました。

消防団員の声

消防団活動を通じて

私が消防団に入団して10年目になりました。

入団した当初は、戸惑いと不安ばかりでした。初めて規律訓練に参加したときは、緊張して全身が筋肉痛になった事が思い出されます。

様々な訓練に参加すること
に先輩方に声をかけていただ
き、仲間もでき、楽しみも増
えました。しかし、厳しさは
当然あります。一つ一つの訓
練は、火災・災害等で対応で
きるための訓練です。

訓練を通じ、仲間と協力して励んだ日々と経験はかけがえのない財産となっています。

今後も守るべきものを守れるように、家族に、仲間に支えてくださる全ての方々に感謝し、これからも消防団活動を頑張ります。



第8分団2部 副部長
桑原 高志



第4分団1部 班長
篠原 大志

消防団に入団してみて！

私は消防団に入るまで消防団とは何なのか全く知りませんでした。しかしながら入団してみると先輩や後輩、さらにはもつと年上や年下の方々も沢山いて、右も左も分からない消防団活動の一つ一つ教えて頂きました。

消防団の活動は楽しい事も大変な事も沢山あります！例えば早朝訓練です。朝が苦手な人からすると大変だと思います。

私の仕事は小さな理髪店をやっています。今のお客様は14年間にわたる修行先からのお客様や友達、先輩や後輩、ご近所の皆様、それに消防団の皆様です。管轄分団は違うけど同じ活動をしている仲間との会話は楽しく、色々な方々が自分のお店の話を各方面で話してくださっていたので、とても嬉しく思います。

消防団は若者の義務でもありませんし、強制して入る所でもありません。しかし消防団に入ったら人は普段の生活から一歩踏み出している、町や地域に貢献しようとする人々の集まりだと思っています。私も理容士として消防団や地域の皆様、仲間に喜んでいただけようメニユーをさらに提供しているけれどと思っています。

消防団活動に出ない時が多々ある職種ですが、出るときには積極的に参加していきます。

たいと思っています。

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、『大切な家族や地域を守りたい』そんな思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長

成田 統

須坂市消防団管轄区域 **第5分団** 1部 高畑町、旭ヶ丘町、北旭ヶ丘町、松川町、光ヶ丘ニュータウン 2部 南小河原町、小河原町、新田町 3部 小島町、豊島町 4部 相之島町、北相之島町 **第6分団** 1部 高梨町、五閑町 2部 塩川町 3部 沼目町 4部 八重森町 5部 村山町 **第7分団** 1部 井上町 2部 福島町 3部 中島町 4部 九反田町 5部 幸高町 6部 米持町

消防団員 家族の声

ご縁に感謝



小林 裕美さん
左：湊くん
第3分団3部
小林 和樹さんのご家族です



小山 智美さん
第10分団3部
小山 敦史さんの奥様です

消防団の皆様、いつも地域に寄り添った活動をしていただきありがとうございます。また、団員のみならず、その家族まで大切に想い、楽しい催しを考えてくださる分団長をはじめ分団の皆様、心から感謝申し上げます。

我が家の末っ子の息子もいつも団員の方々にかわいがっていただき、消防団活動を通じて主人が色々な方々と繋がりを持つ事ができ、それによって私や子どもも他の団員のご家族との人間関係の幅が広がり、とても濃い地域密着型の生活を送らせて頂き幸せに思います。

私たちの大切な地域を守ってくださる消防団の皆様、これからも安全第一でご活躍ください。

今後ともよろしくお願い致します。

新婚1年目

今年、中野市から須坂市に嫁いできました。これからよろしくお願ひします。

私達夫婦は、7月7日に入籍して夫も地元を離れ二人で暮らしています。

交際中は私の誕生日に年末夜警があるという事で、事前にお祝いをしてくれて嬉しかったです。

入籍した日も消防の会議があり出かけていきましたが、ちゃんとレスポランでご飯を食べてからだったので許します。

入籍し、地元を離れてアパート暮らしをしてから、夫はいつでも出勤できるようなお酒は控えているようです。実家に居れば飲めて嬉しいとか。

また、地域の行事と夫の消防の訓練が重なると、不慣れではありますが私ができるだけ参加しサポートもしています。

日々の訓練、大会などの練習では朝早くから頑張っているようなので、体調には気をつけてほしいです。

結婚1年目ですが、夫をできるだけサポートしていきたいです。

写真で見る消防団活動（4月～9月）



▲山林火災防ぎょ訓練
（4月23日 本郷町）



▲春季ラッパパレード
（4月23日 4分団管内）



▲須高協会 水防工法研修
（5月28日 福島グランド）



▲須坂カッタカタまつりパレード
（7月22日）



▲消防団ラッパ隊広域交流会
（7月30日 中野市）



▲須坂市総合防災訓練
（8月27日 墨坂中学校）



消防団音楽隊

第33回 定期演奏会

と き 11月12日（日曜日）

と ころ 須坂市文化会館
（メセナホール）

開 演 午後5時（4時開場）



皆さまでに楽しんでいただける演奏会をめざして、隊員一同がんばって訓練を重ねておりますので、大勢のご来場を心よりお待ちしております。



トランペット
森井 徳一

【演奏曲目】

- ・勇気のトビラ ・J-BEST ～日本を勇気づける名曲たち～ ・情熱大陸
- ・アンパンマンメドレー ・ジャパニーズ グラフィティーXVII 美空ひばりメドレー 他

☆ 須坂市消防団ラッパ隊の演奏も是非ご期待ください ☆

第3分団3部の新詰所が完成！



第3分団3部の詰所が道路拡張工事に伴い移動、新築されました。新詰所には、女性用更衣室、トイレも完備されています。

火の用心～いま一度見つめ直して～

平成28年の火災

17件（建物9件、車両1件、その他7件）

平成29年の火災

14件（建物5件、車両0件、その他9件） ※9月30日現在
これからの時期は、火気の使用が増えるとともに空気が乾燥し火災が発生しやすい環境にあります。火の取り扱いには十分注意してください。農業におけるリンゴなどの剪定枝を燃やすときは事前に消防署への届け出が必要です。また、その際には住宅に近いところは避け、時間や風向きに十分注意をお願いします。

平成29年度全国統一防火標語

『 火の用心 ことばを形に 習慣に 』



消防団員 募集中



地域の安心と安全を守るために、
あなたにもできることがあります。

私たちと一緒に地域を守る活動をしてみませんか！
須坂市消防団では男性、女性問わず随時団員の募集をしています。お気軽にお問い合わせください！

☆学生消防団活動認証制度をご存知ですか？

消防団活動に取り組んだ大学生・大学院生・専門学生（以下「大学生等」という。）について、地域社会への貢献を市が認証することにより、就職活動の支援を行うもので、企業の採用担当者等へ提出し、消防団員として社会貢献してきた実績を評価してもらえるよう、アピールすることができます。

お問い合わせ

須坂市消防本部総務課（☎026-245-4100）

e-mail:s-soumu@city.suzaka.nagano.jp

第11分団 第10分団 第9分団 第8分団 第7分団 第6分団 第5分団 第4分団 第3分団 第2分団 第1分団 音楽隊長 副団長 副団長

小坂山 大田 中村 斉藤 勝山 関谷 関谷 阿部 山下 山崎 宮崎 小池 中村 秀哲 春仁 淳之 泰之 知延 芳明 智史 裕喜 彰男 彦勝

【編集委員】

今年、全国女性消防操法大会に長野県代表として須坂市の女性消防団員が出場しました。昨年からの訓練を行い、本当に頑張ってくれました。広報誌を通じて、消防団を身近に感じていただき、多くの方に消防団に入団していただければ幸いです。これからも予防消防に努め、地域の安全・安心のため、消防団活動を行ってまいりますので、市民の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

編集委員長

分団長会長 中澤 淳

編集後記